

愛育ながさき

Ai-iku-Nagasaki 40号

発行所/一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会
発行者/竹内隆伯 発行日/平成31年4月4日
〒852-8104 長崎市茂里町3-24
長崎県総合福祉センター県棟4F408号
Tel:095-846-8730/Fax:095-846-8738
E-mail:info@ikusei-nagasaki.jp

京(みやこ)から ほほえみ あふれる 新しい未来へ
第5回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会 京都大会
併催 第57回近畿知的障がい者福祉大会 第28回京都市知的障害児・者福祉研修大会

特集：全国大会報告

～京(みやこ)からほほえみあふれる新しい未来へ～

記念講演
あの素晴らしい愛について
講師 きたやま おさむ様

いきいきと暮らす

～本人部会活動「ふれあいネットワーク・ピア」～

全国育成会連合会 久保会長あいさつ

国立京都国際会館を会場に2月23日は分科会、24日は全体会が開催され、分科会では家族・支援者が参加する6分科会と本人参加の5分科会に分かれて研修が行われました。

この大会で久保厚子会長は、「“ほほえみあふれる”社会の構築をしていくための発信をする大会」について、希望を持った視点の大会だと指摘され、さらに藤木恵大会実行委員長は「歴史をしっかりと受け継ぎながら、ほほえみあふれる新たな時代を切り拓いていこう。京都大会がそうした思いの実現に向けた契機となってほしい」と力強く語られました。

私が参加した分科会では“ほほえみあふれる「高齢期」の支援”をテーマに「高齢になったらどうなるの？どんな準備がいるの？」という視点から、上智大学の塚晃教授による基調講演がありました。要点としては、グループホームでの生活を推進する中で、介護保険制度と連携させていく方法もこれからの取り組みでは大事になる。また、相談支援事業をより充実させることが、利用するサービスがよりニーズに沿ったものになるとの受け止めをしました。

結びに、すべてのテーマに共通する“ほほえみあふれる”の表現は、私の心にひびき、深い印象を得ることができた“みやこ”での大会となりました。

持ち帰った大会の種を、“命の尊厳”と“人が人を愛していく地域社会”の苗に育て、真の共生社会が実るよう努力することを申し上げ報告いたします。(西海市手をつなぐ育成会 理事長 平野 直幸)



全国大会で
県育成会 前会長
甲田裕氏が表彰されました

分科会に参加して

本人大会分科会では、【第1分科会 はたらくトーク】に参加してきました。助言者の又村あおいさんの進行で、みんなが、自分らしく働くためにというテーマで3人の当事者からの話を聞きました。その後、小グループに分かれて、働く生きがい(目的)、働くこと(場所、方法)、困った時に誰に相談するかについて、グループのメンバーで話し合いました。

話の内容は仕事をしていて楽しかったことやうれしかったことでした。『もっと高い給料の仕事をしたい』『お金を貯めて旅行に行きたい』という意見もありました。うれしかったこととしては、仕事の悩みを相談する人がいるか?の質問に対して、ほとんどの仲間たちが、相談相手がいると回答していたことでした。困ったことや悩んだ時に相談できる相手がいることはとても大切なことだと思います。

全国の仲間のお話をたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。これからもできる限り、色々な研修会などに参加を続けたいと思っています。(ふれあいネットワーク・ピア 江口紀雄)



本人分科会 はたらくトーク

私は、「暮らす」をテーマにした分科会に参加し、午前は、「安心して暮らせる地域社会」をテーマにした基調講演、午後は、「みつけよう、はじめよう、自分らしい暮らしを!!」をテーマにしたシンポジウムを拝聴しました。

貴重なお話で、一つひとつの言葉が、胸に突き刺さり、考えさせられ、反省することもありました。支援にあたって私たちが守らなければならないと考える一つとして、「自分たちは無知で無力であるという認識を持つこと」という言葉が印象に残りました。利用者本人の事を、わかっているつもりにならず、決めつけた支援、思い込みの支援を行わずに、今、利用者本人が、何を求め、何がベストの支援なのかを支援者全員で考え、毎日を自分らしく、笑顔で過ごしていただけるようなグループホームにしていきたいと、改めて思いました。(佐世保市育成会 ゆめホーム管理者 安部 千里)

家族支援ワークショップ in 五島



過去2年間、天候不良のため実施が見送られた五島市での家族支援ワークショップを、今年2月3日実施することが出来ました。まさに3度目の正直です。五島市では初めての家族支援ワークショップ実施ということで、家族支援の基本中の基本「家族にも支援は必要です」のプログラムとワークを行いました。16名の参加者の皆さんは開始直後こそ緊張した雰囲気でしたが、終盤から打ち解け、和やかな表情で会場を後にされました。

できれば五島市でも養成講座を受講されたファシリテーターが、離島を含む五島各地で家族支援を展開され、障害のあるこどもの家族に寄り添っていく環境が整うことを願いながら、五島の地を後にしました。帰りの船を待つ間、五島市育成会の榎津会長には、雨にもかかわらず、市内各地や三井楽の美しい海辺などをご案内いただき、ありがとうございました。(家族支援部会サブリーダー 長崎市育成会 上田小夜香)



いきいきと暮らす ～本人部会活動を紹介します～

特定非営利活動法人 ふれあいネットワーク・ピア

「ふれあいネットワーク・ピア」は障がいがある当事者による団体です。2005年に設立され、現在439名の会員がいます。主に6つの事業を実施しています。

- ①まちづくり等の推進を図るボランティア活動事業として、空き缶拾い等の地域の清掃ボランティアを実施しています。
- ②人材派遣事業は、ピアサポーター(仲間同士の支えあい)の活動です。重い障がいの方の話し相手をしたり、楽しく一緒に食事をしたり、食器洗いを手伝ったりしています
- ③人権擁護又は相談事業として、各地区に男女1名ずつの相談員を決めて相談を受け付けています。家族や職場の上司、グループホームの職員さんに相談しづらいことも仲間同士なら気軽に聞け、話せます。



↑定期的に駅の清掃をしています



↑警察の方をお招きして、勉強会を実施しました

- ④スポーツ・文化推進事業として、ふれあいネットワーク主催で運動会や芸術祭を開いています。
- ⑤社会参加促進事業として、安全安心の社会参加をすすめるために色々な勉強会をしています。
例えば、警察署の生活安全課のおまわりさんをお呼びして、地域生活を安心して送るための講習会を実施したりしています。
- ⑥ふれあいネットワーク・ピアの長年の夢であった共同生活援助事業(グループホーム)の運営を2011年11月から開始しました。グループホームで働く職員の採用に関しては、障がいのある当事者が採用面接を担っています。

私たちは「障がいのある人も障がいのない人も安心して暮らすことのできる社会づくり」を目指しています。その実現に向けて様々なご支援をお願い致します。(本人部会支援者 吉岡 祐二)

障がい者施策に関する意見を聴く会

毎年恒例となっている「障害者施策に関する意見を聴く会」が、2月12日長崎県庁3階の会議室で行われました。育成会からは当事者4名、支援者4名と育成会3役等が参加し、年金のこと、障害理解について、仕事のこと、それに障害者雇用の水増し問題のことなど13項目を質問し丁寧な回答をいただきました。すべて解決する訳ではありませんでしたが、司会進行など当事者が進めており、提案者の発言と共に、立派に役をこなして頼もしい印象を受けた会となりました。

会に参加して

長崎市育成会 山本カズ子

司会は自分なりに練習してうまく進めようとしたけど、緊張して名前が出て来なかったり、時間配分がうまくいかなかったりしました。本人の意見を聴く会なので、できるだけ自分の力で進められるようになりたいです。こんな質問をしていいのかなと心配になることもあったけど、この経験で成長させてもらったと思います。また、機会があればやってみたいです。新しい県庁の展望室からの眺めもとてもきれいで、また行ってみたいです。



↑新しくなった県庁舎

平成31（2019）年度事業計画

I はじめに

2018年度は台風、地震、大雨による被害など大規模な災害が相次いで発生しました。また、旧優性保護法による強制不妊手術の問題や出生前診断による命の選別、公的機関による障害者雇用の水増し問題など、障害のある人にとって辛くて大きな問題も発覚し、障害者差別をはじめとする権利擁護の視点で無視することのできない問題であると思っています。

その一方で、厚生労働省の主催で「障害福祉従事者に対する共生社会の基本理念の普及啓発」事業の取組が始まったこと、「障害者文化芸術基本法」が制定され、国や地方自治体で障害者の文化芸術活動を進める計画作りが行われ、各地域で実施されるものと期待しています。加えて2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に「ユニバーサルな街づくり」と「心のバリアフリー」をさらに広めていく動きも活発化しています。これらの事は、障害のある人たちの地域での豊かな暮らしと人権や存在の価値を広く知っていただき共生社会に向けた良い機会になると考え、育成会でもこれらの動きを推進し活動を進めていきたいと思っています。

こうした中、国の障害福祉サービスの動きとしては「障害者総合支援法の3年後の見直し」が「報酬改定」に伴い本格的に施行されています。県育成会としては、日中支援型グループホームや共生型サービスなどの新しい事業や、2021年3月までに市町あるいは福祉圏域に整備される地域生活支援拠点事業が、「親なきあと」も含め、私たちの安心・安全な地域生活にどのように作用するのか注視し、しっかり検証する必要があると考えます。

また、2016年7月に起きた神奈川県相模原市の障害者支援施設での事件を風化させることなく、命の重さと福祉の理念を多くの県民に浸透させることを目的とした活動にも力を注ぐことが重要と考え、今年度の活動・運動を推進したいと思っています。

II 育成会の活性化に向けて

近年の、会員数の減少に対して、県育成会としては全国育成会連合会の「地域育成会活性化施策」を活用すること、当会事業である「家族支援プロジェクト」を特別支援学校や特別支援学級及び地域に広げ発信し続けること、さらに今年度からは長崎市育成会が結成した障害啓発キャラバン隊「よかよか隊」の協力を得、この活動を県下の各地域で実施し、障害の理解・啓発へ繋がるよう努めると共に、地域育成会の活性化への起爆剤となるよう進めてまいります。

また、障害のある本人が「知る見るプログラム」を体験することで、自ら意思を形成し、自分の思いを表出すること、そして意思決定へつながる活動となるよう努めていきたいと考えています。また、意思の形成や表出が難しい人たちに対しても、人としての尊厳を守り互いに尊重しあえる仲間作りを目指していききたい。これからも本人部会がさらに発展すること、未結成の育成会が結成に向け活動が始まることを目指していきます。

平成31(2019)年度 収支予算概要

区 分	実施事業等会計			その他 会計	法人会計	合計
	継1事業	継2事業	小計			
1 経常収益						
受取会費	0	0	0	0	4,600,000	4,600,000
正会員会費	0	0	0	0	3,900,000	3,900,000
賛助会員会費	0	0	0	0	700,000	700,000
事業収益	240,000	0	240,000	0	765,000	1,005,000
受取補助金等	747,640	341,980	1,089,620	0	0	1,089,620
会議参加収益	0	110,000	110,000	0	0	110,000
受取寄付金	0	0	0	0	10,000	10,000
委託事業費	2,450,393	3,025,000	5,475,393	0	0	5,475,393
雑収益	0	0	0	0	450,000	450,000
経常収益計	3,438,033	3,476,980	6,915,013	0	5,825,000	12,740,013
2 経常費用						
事業費	3,819,000	4,385,000	8,204,000	414,000	0	8,618,000
障害理解啓発研修	874,000	0	874,000	0	0	874,000
事業所協議会	179,000	0	179,000	0	0	179,000
就労支援セミナー	160,000	0	160,000	0	0	160,000
本人部会関連事業	563,000	0	563,000	0	0	563,000
ゆうあいスポーツ大会	2,043,000	0	2,043,000	0	0	2,043,000
育成会フォーラム(旧役員研修)	0	354,000	354,000	0	0	354,000
障害者110番事業	0	3,102,000	3,102,000	0	0	3,102,000
相談員研修	0	321,000	321,000	0	0	321,000
家族支援プロジェクト	0	356,000	356,000	0	0	356,000
広報	0	252,000	252,000	0	0	252,000
県大会	0	0	0	0	0	0
九州大会	0	0	0	350,000	0	350,000
全国大会	0	0	0	31,000	0	31,000
累犯障害者支援研修	0	0	0	33,000	0	33,000
管理費	0	0	0	0	4,068,686	4,068,686
慶弔費	0	0	0	0	50,000	50,000
経常費用計	3,819,000	4,385,000	8,204,000	414,000	4,118,686	12,733,686
当期経常増減額	-380,967	-908,020	-1,288,987	-414,000	1,706,314	6,327
正味財産期首残高						17,471,914
正味財産期末残高						17,478,241

平成31(2019)年度

年間計画

事業等の関係で変更になることがあります。

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4	5	金	ゆうあいスポーツ大会名簿校正	10	12	土	} 第19回全国障害者スポーツ大会 (茨城県)
	12	金	長崎県育成会事業所連絡協議会		13	日	
	16	火	ゆうあいスポーツ大会最終名簿校正		14	月	
	19	金	第1回九育連役員会(熊本市)		22	火	障害者110番無料法律相談(松浦市)
	25	木	ゆうあいスポーツ大会冊子発送	11	15	金	第3回県育成会理事会
5	15	水	県育成会監査		19	火	障害者110番無料法律相談(大村市)
	18	土	ゆうあいスポーツ大会準備		22	金	第2回九育連役員会(熊本市)
	19	日	第40回ゆうあいスポーツ大会 (諫早市多良見町なごみの里運動公園)		22	金	全国大会前泊
	26	日	第19回県障害者スポーツ大会		23	土	} 第6回全国育成会連合会全国大会 九州大会併催(熊本大会)
6	1	土	第1回県育成会理事会		24	日	
	15	土	長崎県育成会定期総会(長崎原爆資料館) 第2回県育成会理事会	12	8	日	長崎県障害者芸術祭(五島市)
	19	水	ゆうあいスポーツ大会反省会		14	土	障害理解啓発研修会(諫早市)
7	13	土	} 知る見るプログラム(調整中)		18	水	障害者110番法律相談(新上五島町)
	14	日			1	22	水
	26	金	知的相談員研修会(県北・佐世保市)	2	1	土	長崎県育成会フォーラム(旧役員研修会)
8	2	金	知的相談員研修会(県南・諫早市)		15	土	障害理解啓発研修会(島原市)
	18	日	わたぼうしコンサート in2019		21	金	第3回九育連役員会(仮)(熊本市)
9	7	土	障害理解啓発研修会(佐世保市)		27	木	障害者110番無料法律相談(時津町)
10	5	土	障害理解啓発研修会(対馬市)	3	5	木	全国育成会フォーラム(仮)
					6	金	全国育成会代表者会議(仮)
					13	金	第4回県育成会理事会
					19	木	家族支援フォローアップ講座

全国事業所協議会研修大会(静岡県)1月 / ゆうあいスポーツ大会打合せ会議3月上旬

平成30年度 賛助会員 (平成31年3月15日現在 敬称略)

本年度も長崎県手をつなぐ育成会へのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

(有)総合療育リハ・サービス	山田 星三	たんぼぼの里	川口 敬
(株)やまびこ学苑	山田 勝彦	たんぼぼの里 大川原作業所	川口 敬
(社福)とみのはら福祉会		ワークプラザ松浦	大久保ひろ子
あじさいの家	大平 博幸	ワークハウスほのぼの	米田 真喜
NPO法人燦々クラブ	沖永 ちえみ	杉の木ホーム	須賀 博司
社会福祉法人長崎博愛会		あゆみ園	財部 久仁信
松光学園	本田 和弘	NPO法人五島あすなろ会	
光のフェアリー	森藤 真須美	ほっとホーム富希	
つきの里	黒田 美佐子	社会福祉法人藤朋会ふじ学園	杉 秀宣
みさかえの園のぞみの家		五島市はまゆう福祉作業所	平松 愛
みさかえの園第二めぐみの家	齋木 初江	富江町桑の実作業所	松崎 栄子
障害者支援施設 こざくら学園	井石 美穂子	けいぶはうす	
障害者支援施設 あけぼの学園		障害者活動所れいめい園	川道 スエ
NPO法人星のくま		互隣の家	
桜が丘学園		もくもく	
NPO法人障害者就労支援センター		サポートじねん	本田 雄峰
(社福)恵風会 そよ風の里	高濱 浩	社会福祉法人 民生会	松田 正氏
(社福)むすび会 おおぞら作業所	吉木 利徳	障害者支援施設 平戸祐生園	佐藤 慎一郎
ライフステーション	森 誠	グループホーム支援センター	長島 志津代
諫早ワークス	志賀 正幸	ゆめホーム	
大村さくらの家	原口 健一	社会福祉法人風車会	中村 鉄舟
社会福祉法人三彩の里	江口 司	社会福祉法人コスモス会	本田 利峰
あかつき学園		グループホームのぐち1号・2号	
普賢学園	本田 龍一	グループホームむなかた	桑原 明美
夢工房みどり	山田 順子	ワークハウス	大久保ひろ子
さんらいず		悠久会GH都久志荘	
ワークあじさい	藤原 剛	グループホームおおぐし1号・2号・かめだけ	
(社福) 武正会	北島 正一	ひかりホーム	
障害福祉サービス事業「陽香里工房」	山田 直子	相談支援事業所 えくぼ	
多機能型事業所 であいの家	森 和行	あいりす	
多機能型事業所 きらら	若松 啓助	つき学園	山口 ヨシ子
千草野学園	桑原 節子	NPO法人インフィニティ	門畑 和也
就労継続支援事業所のびのび		平戸市社協障害者相談支援事業所	
シルク印刷工房 わくわくワーク	池田 勝俊	合資会社 優里	森 智子
ネットワークセンターひかり	菅 敏洋	社会福祉法人長崎慈光園	白川 利勝
銀の星学園	永代 秀顕	社会福祉法人 南高愛燐会	田島 光浩
		匿名 1名	

知的障害児者・自閉症児者のための

生活サポート総合補償制度

(年間掛金) Aプラン：17,000円、Bプラン：23,000円

入院給付金 個人賠償責任保険金 葬祭費用保険金

死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各保険金

既往症、てんかん発作など知的障害児者・自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。

パンフレットのご用命は下記事務局または担当代理店へお問い合わせください。



(事務局) ながさき知的障害児者生活サポート協会

TEL：095-893-5503 FAX：095-814-1778

2016年4月より 新プラン誕生！！

新プラン（Bプラン）の主な特長は

★入院給付金 2日目から補償

★個人賠償 最高3億円まで補償

★ケガの入院を日額5,000円、通院を3,000円補償

(担当代理店) ジェイアイシー九州

TEL：092-791-7561 FAX：092-791-7562

《 長崎県手をつなぐ育成会行事のお知らせ 》 6月まで

行 事	月 日	場 所	概 要
長崎県事業所協議会	4月12日(金) 13:30~16:30	長崎県総合福祉センター 4階 障害者交流室	13:35~13:45 決算報告・予算審議 13:45~14:50 現況報告・全国研修会報告 15:05~16:25 「今、求められる事業所の役割と運営」検討会・まとめ
長崎県ゆうあいスポーツ大会準備	5月18日(土) 9:00~17:00	なごみの里運動公園 (諫早市多良見町)	9:00~本部実行委員、大会運営委員正副責任者集合 13:00~運営委員・各係集合
長崎県ゆうあいスポーツ大会	5月19日(日)	なごみの里運動公園 (諫早市多良見町)	7:30~運営委員集合 8:30~参加者集合 9:00~15:00 開会・競技・閉会
長崎県障害者スポーツ大会	5月26日(日)	長崎県総合運動公園 (諫早市)その他	9:50~総合開会式 この間 各会場で競技 16:20~総合閉会式
長崎県育成会理事会	6月1日(土)	長崎県総合福祉センター	13:00~16:00

長崎県育成会定期総会

6月15日(土)長崎市原爆資料館ホール

13:00~13:30 式典
13:40~14:10 議事
14:10~14:20 報告事項
14:40~15:40 芸術・文化・スポーツ活躍本人紹介
15:40~15:55 新理事・監事あいさつ



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者（本人・家族）に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。年間3,900円 B5版48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

**知的障がい・発達障がい
ダウン症・てんかんの
ある方のための保険**

病気やケガでの入院
虐待・差別・逮捕に
対応
誤って物を壊してしまう…

最高日額1万円
弁護士費用補償

ぜんちのあんしん保険
東京海上日動の個人賠償責任補償付
少額短期健康総合保険（無告知型）2016年創設

個人賠償責任補償
最高5億円

※(総合生活保険(個人賠償責任補償))
引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社

ぜんちのこども傷害保険
東京海上日動の個人賠償責任補償付
権利補償付傷害保険(2016年創設)

日常生活でケガをすることが多い…
トラブルに巻き込まれた際、誰も助けてくれない…
当事者同士での解決が難しい…

入院・通院を日額保障
弁護士がサポート
示談交渉サービス付き

ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込のみ

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。 **詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ**

<代理店>
有限会社 トータルサービス
TEL 095-832-2430
〒850-0033 長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル5階

ぜんち共済株式会社
ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F
コールセンター **0120-322-150**
ぜんち共済 http://www.z-kyosai.com/

[2017年12月作成 17-T08668]